

授業づくりシート

～社会的事象の意味を多角的に考えさせることをめざして！～

1. 学習指導要領(内容)	
2. 社会的事象	
3. 社会的事象の意味	
4. 予想される児童なりの社会的事象の意味	



5. 社会的事象を捉えさせるための視点		
①	②	③



6. 社会的事象にかかわっている立場



7. 視点を含んだ立場			
立場			
視点もっている			
8. 立場の説明			

授業づくりシート活用の手順

1. 学習指導要領から本单元にかかわる内容を書き出す
2. 学習指導要領に沿った社会的事象（教材）を探す
 - ・ 論争問題になり得る教材を探す
3. 社会的事象の意味（概念的知識）を考える
 - ・ 社会的事象にかかわる学習指導要領の内容や専門書などを参考に，他の事象に転用できるような概念的知識を考える
4. 社会的事象の意味を児童に考えさせるならどのような言葉になるか考える
 - ・ 児童なりの言葉で表すことで，児童にどのように理解させるか見通しがもてる
5. 児童に社会的事象の意味を捉えさせるために必要な視点を考える
 - ・ 社会的事象の意味から取り出したり，難しい単語をわかりやすい言い方に変えたりするなどして，視点を設定する
6. 社会的事象にかかわっている立場をできるだけたくさん挙げる
 - ・ 具体的な人物を想像することができるような立場を探す
7. 6で挙げた立場から，5で考えた視点をもっている立場を選ぶ
 - ・ 最初からすべての視点をもっている立場を選ぶのではなく，児童が視点に気がつきやすいような立場を選ぶ
 - ・ 児童にとって身近な立場ではないなら，身近な立場になるよう工夫をする
8. 7で選んだ立場についてどのような立場なのか調べる
 - ・ 児童に立場を理解させる際に必要な説明を簡単に考える
9. 本シートを基に，より詳しく教材研究を行う
 - ・ 設定した社会的事象について，地域とのかかわりについて調べたり，設定した立場の人にインタビューに行ったりする